

クラブ運営方針



2004～
2005年

所信表明

会長 横山邦夫

私たちは、何を期待してロータリーに入ったのでしょうか。今一度、その初心を思い起こしてみようでは有りませんか。退会者を無くすためにも、新会員を増やすためにも、そして私たちがロータリーを楽しむためにも。ロータリーを通じればこそ、私たちは様々な奉仕プログラムを実行することができるものだと思います。そして、そこには様々な出会いがあります。人との出会いから始まり、その出会いを大切にしてくからこそ達成できるものがあると考えます。

例会は、その最善の場ではないでしょうか。寄付団体であれば、例会は月に一回でもいいし、二ヶ月に一回でもよいと思います。例会に出席しなくても寄付さえしていれば良いと思いますが、ロータリーは、クリスチャンが毎週一回教会に行つて心を磨くように、必ず毎週一回の例会には出てこい、と言うのは何のためなのか？ 考えてみたいと思います。

奉仕の結果、手にする報酬は困った人に「手を貸す」ことができたという個人的な満足感に他ならないかもしれませんが、私たち一人一人が個人レベルで、また何人かで協力しそれぞれの奉仕活動を行つて行きたいと思います。私が、このクラブの中で会長として何ができるかわかりませんが、100年を区切るとするロータリー年度で、いろいろな形でロータリーを見直し『何か』を発見することのできる手助けができればと考えています。とにかく節目の100年昨年度同様親睦を大事に『ロータリーを楽しもう』をテーマに、一年間やつて行きたいと思います。また、今年度は、会長の時間はこのような形で手紙として皆さんに読んで頂きたいと思います。そして大事にとっておいていただけませんか？ 何かの役にたつ時があるかも知れません。

一生懸命に、愛する人に出すように書きたいと思います。